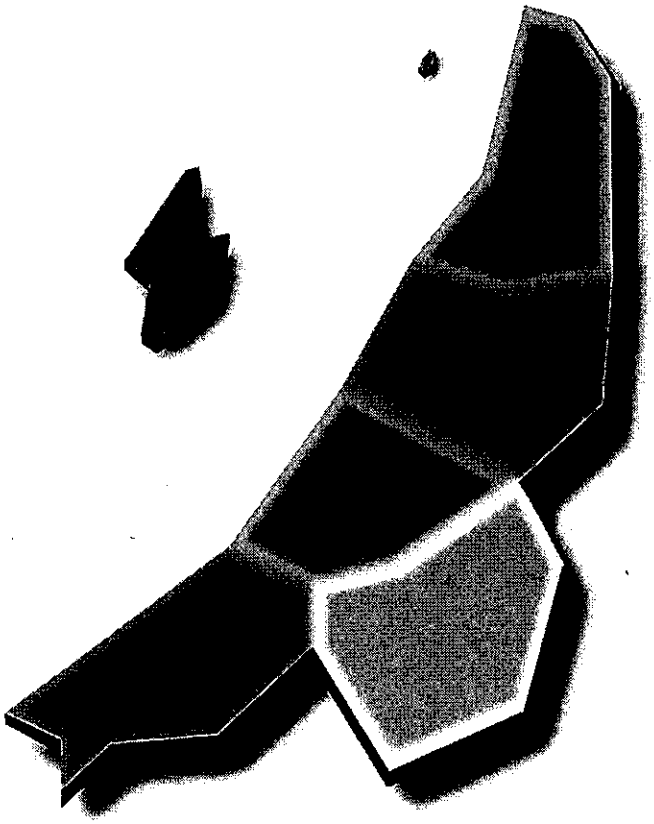
その他(3)　　別冊１「アンケート調査」

中等教育学校に関するアンケート調査の結果について

このことについて、別紙のとおり報告する。

令 和 2 年 3 月 27 日
新潟県教育委員会教育長
稲 荷 善 之

中等教育学校に関するアンケート調査
集計結果



令 和 2 年 3 月
新潟県教育委員会

はじめに

本県ではこれまで、中等教育の多様化を推進し、６年間一貫した教育によって生徒の個性や能力の伸長を図ることを目的に、中等教育学校を設置してまいりました。

しかしながら、中等教育学校を取り巻く環境は、少子化や、小中一貫教育を実施する学校の設置拡大などにより、いくつかの学校で志願者の減少、定員割れが生じるなど、設立当時と比べ変わってきております。

これまでの中等教育学校が取り組んできた特色ある教育活動を評価するとともに、中等教育学校について児童・保護者のニーズを把握する必要があることから、今回、地元教育委員会及び小学校関係者の皆様のご協力を賜り、中等教育学校に関するアンケート調査を実施いたしました。ご協力いただいた関係者の皆様には、この場をお借りして感謝申し上げます。

今回の調査結果につきましては、今後さらに分析を進め、中等教育学校のあり方を検討するための資料とさせていただきます。

県教育委員会としては、今後も「県立高校の将来構想」に基づき、魅力と活力ある学校づくりを推進してまいります。保護者をはじめとする県民の皆様には、本県の教育の現状や教育課題をご理解いただき、一層のご協力を賜りますようお願いいたします。

令和２年３月27日

新潟県教育委員会教育長

稲荷 善之

【アンケート調査の概要】

○　調査の目的

小学生及びその保護者の意識を調査し、今後の中等教育学校のあり方を検討するための資料とする。

○　調査対象

対象とした自治体の市町立小学校に在籍する小学６年生及びその保護者

○　調査実施時期

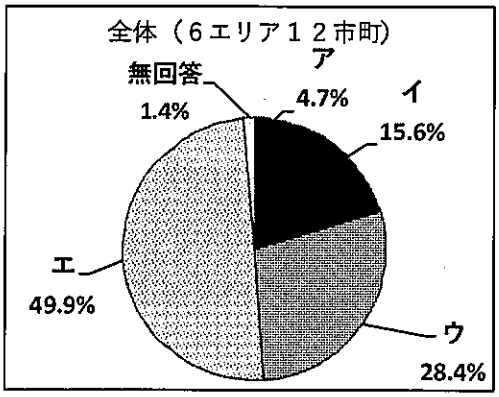
令和元年９月下旬～10月初旬

○　回答数

対象エリア	自治体	児童回答数	保護者回答数
村上中等エリア	新発田市	662	663
	村上市	367	367
	胎内市	183	183
柏崎翔洋中等エリア	柏崎市	560	563
燕中等エリア	三条市	553	554
	燕市	532	532
津南中等エリア	十日町市	355	355
	津南町	61	61
直江津中等エリア	糸魚川市	283	283
	妙高市	177	181
	上越市	1,282	1,287
佐渡中等エリア	佐渡市	274	274
12市町の計		5,289	5,303

1　「児童に対する調査」結果

Ｑ１　小学校卒業後の進学先には、決められた学区の中学校と中等教育学校などがあります。あなたは、その違いについて調べたことはありますか。



ア　しっかりと調べたことがある

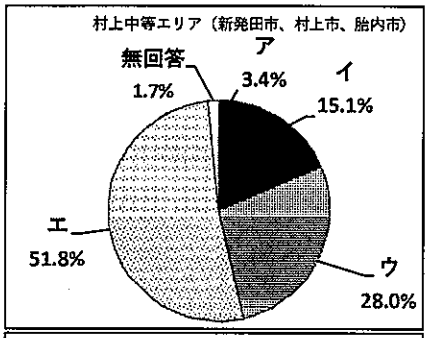
イ　少し調べたことがある

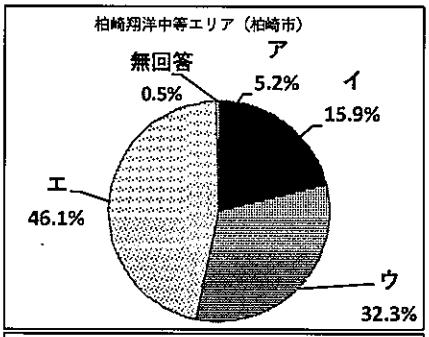
ウ　あまり調べたことがない

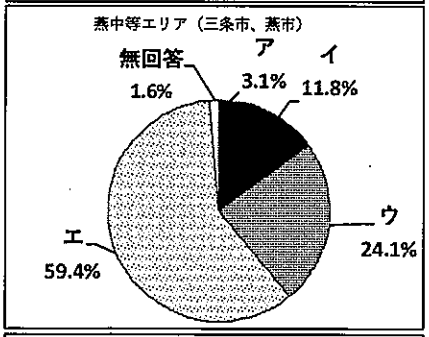
エ　全く調べたことがない

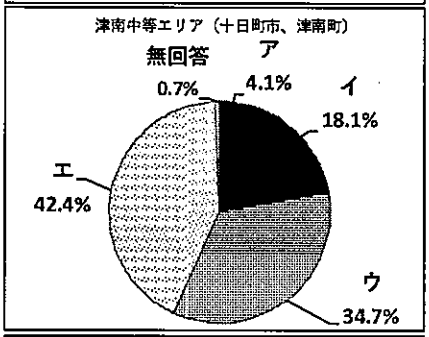
無回答

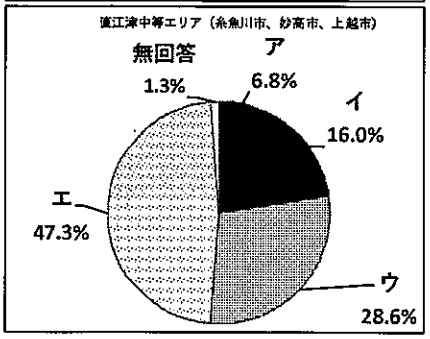
○　中学校と中等教育学校などの違いについて調べたことがある児童は20.3％である。

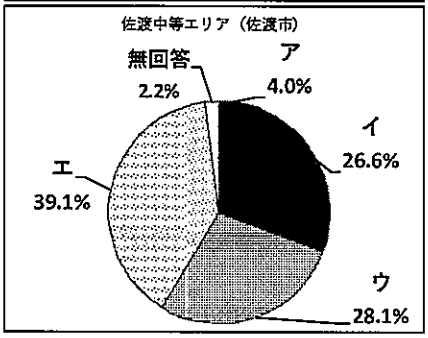




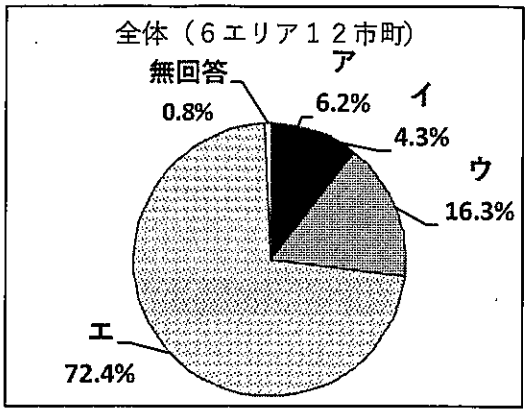








Ｑ２　今の段階で、新潟県の中等教育学校への進学を希望していますか。



ア　希望している

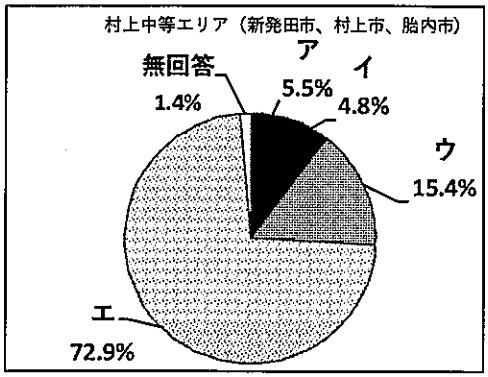
イ　どちらかというと希望している

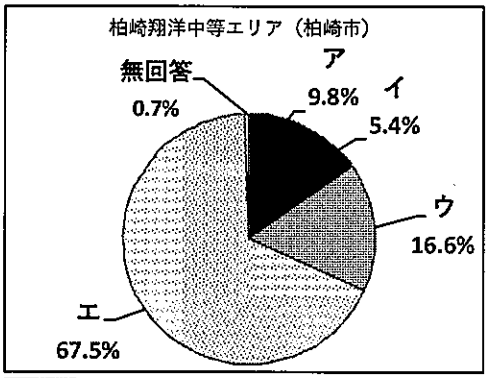
ウ　どちらかというと希望していない

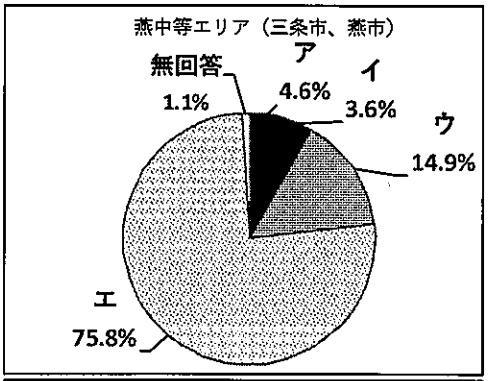
エ　希望していない

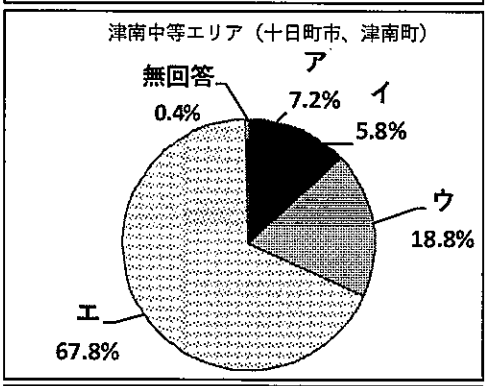
無回答

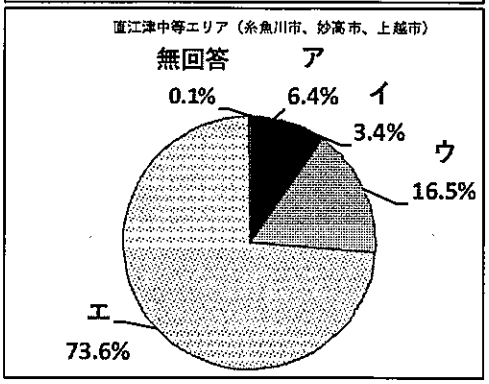
○　中等教育学校への進学希望は約10%である。

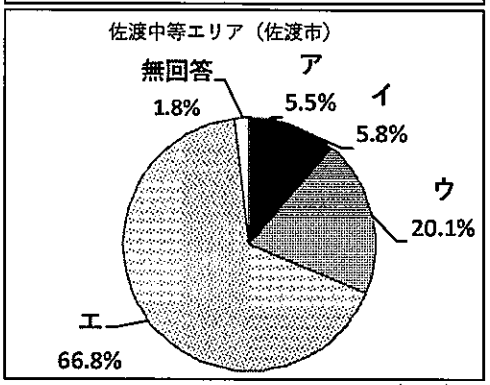




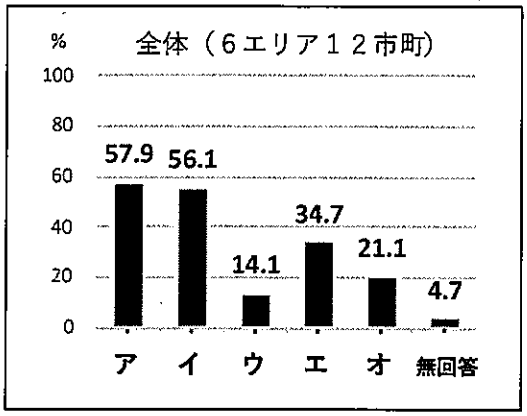






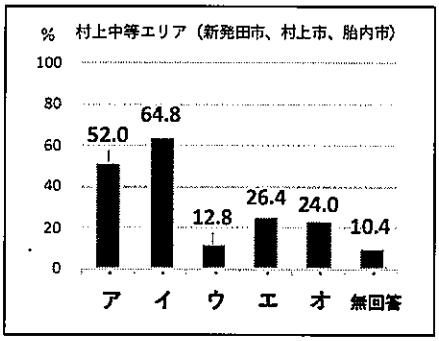


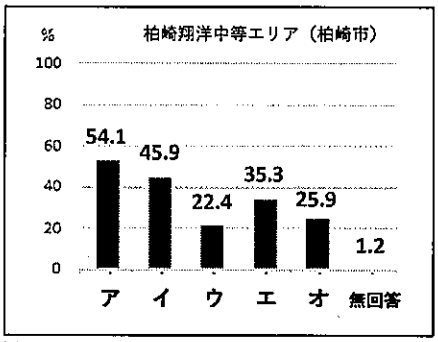
Ｑ３　中等教育学校への進学を選ぶ理由は何ですか。（※Ｑ２ア、イ回答者、複数回答可、数値は回答者に占める割合）

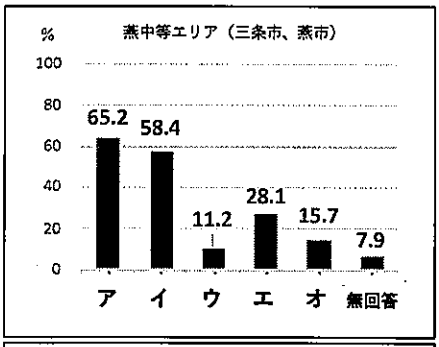


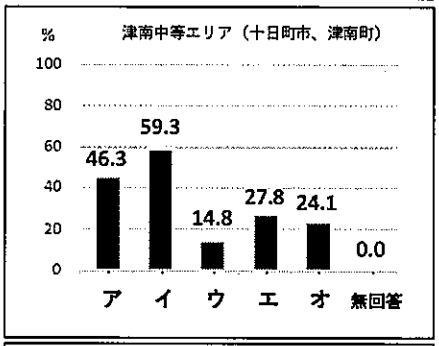
ア　大学への進学を目指して学習をがんばりたい
イ　高校入試がなく、６年間ゆとりある学校生活を送ることができる
ウ　地域での体験学習が充実している
エ　学校行事が充実している
オ　その他
無回答

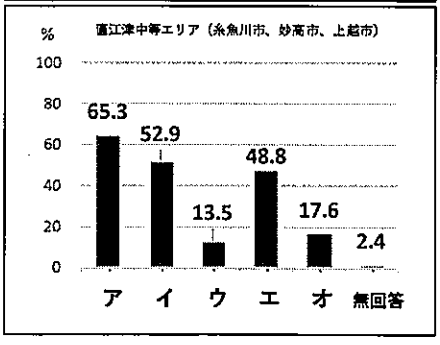
○　中等教育学校への進学を選ぶ理由は、「大学への進学を目指して学習をがんばりたい」が57.9%で最も高く、次いで「ゆとりある学校生活を送ることができる」が56.1%である。

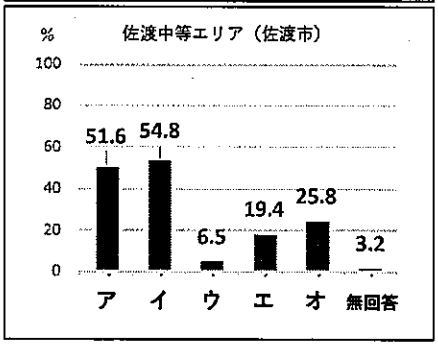




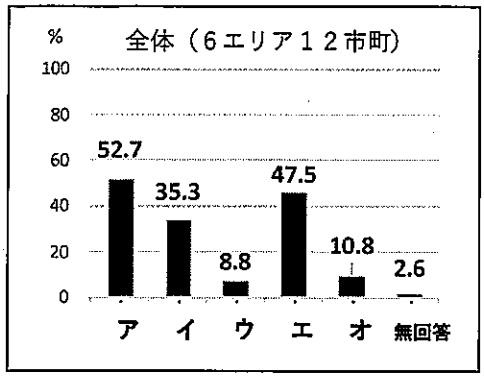








Ｑ４　中等教育学校ではなく、中学校や高等学校への進学を選ぶ理由は何ですか。（※Ｑ２ウ、エ回答者、複数回答、数値は回答者に占める割合）



ア　いろいろな仲間とふれあいながら学習や学校生活をがんばりたい

イ　部活動をがんばりたい

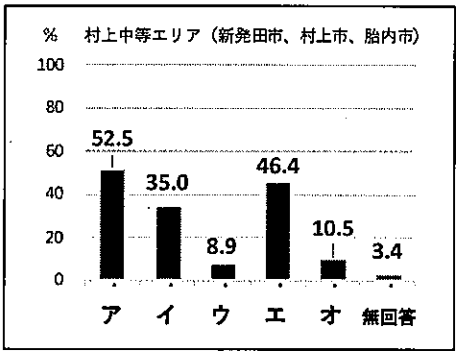
ウ　高校で農業・工業・商業など専門的な学習をしたい

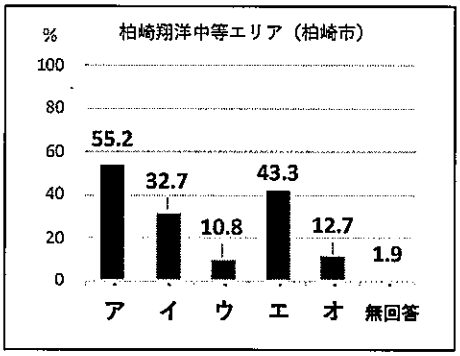
エ　自分の家から近い学校へ通いたい

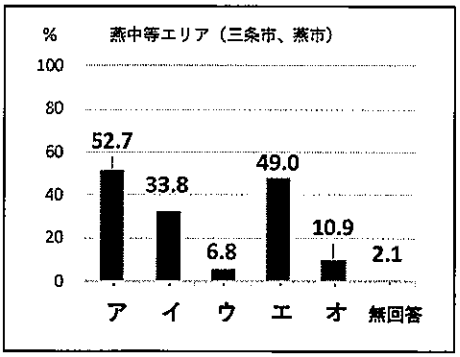
オ　その他

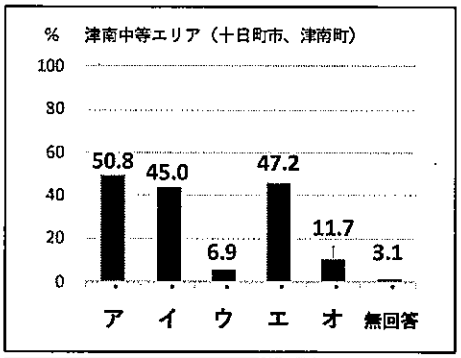
無回答

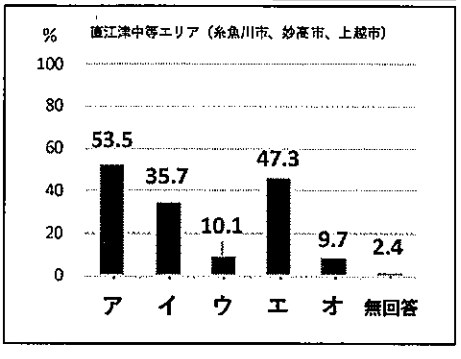
○　中学校や高等学校を選ぶ理由は、「いろいろな仲間とふれあいながら学習や学校生活をがんばりたい」が52.7%で最も高く、次いで「自分の家から近い学校へ通いたい」が47.5%である。

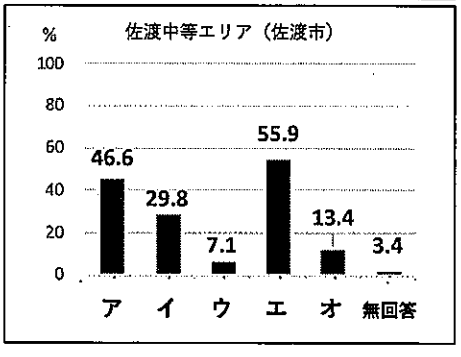




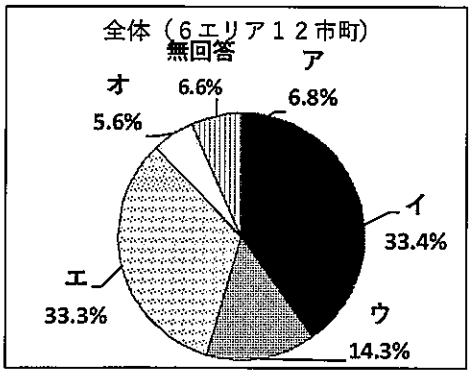








Ｑ５　進学したい高等学校をいつごろ決めようと考えていますか。
（※Ｑ２ウ、エ回答者）



ア　中学校１年生の間に決める

イ　中学校２年生の間に決める

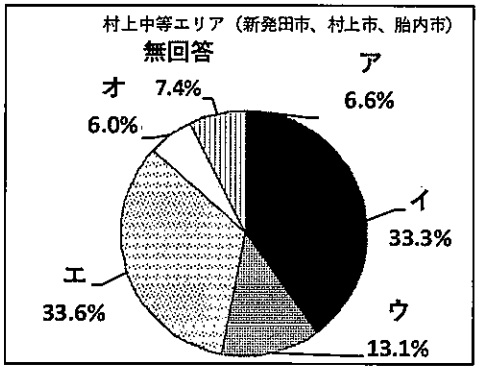
ウ　中学校３年生の間に決める

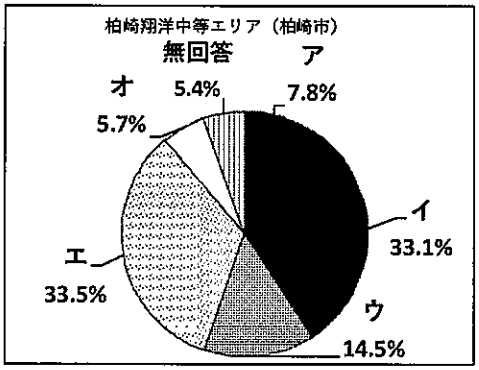
エ　いつごろ決めるかは考えたことがない

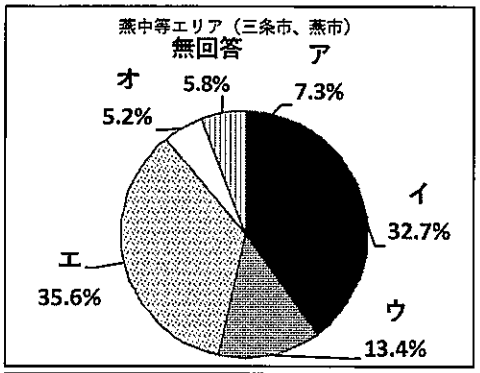
オ　その他

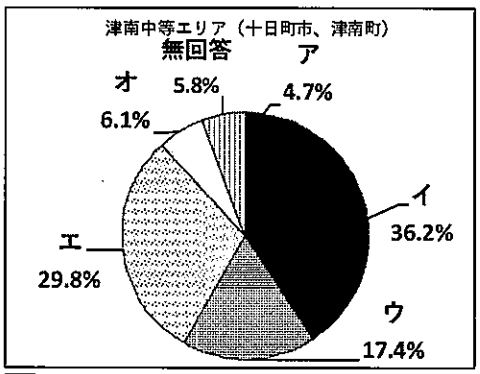
無回答

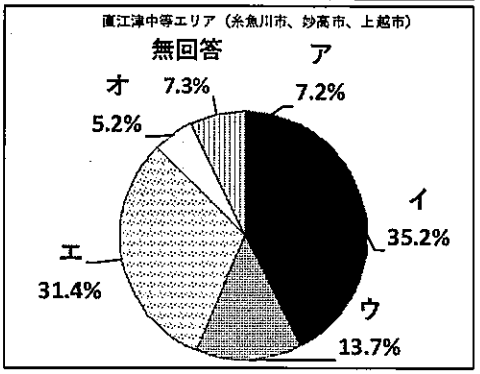
○　高等学校を決める時期については、「中学校２年生の間」が33.4%で最も高く、「考えたことがない」も33.3%と高い。

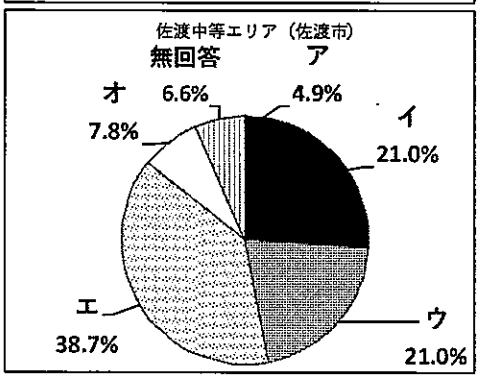




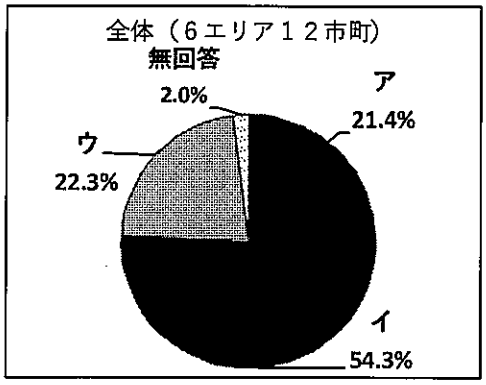








Ｑ６　あなたが中学校や中等教育学校などに通学するとしたら、どれくらいの範囲までなら通学できると思いますか。



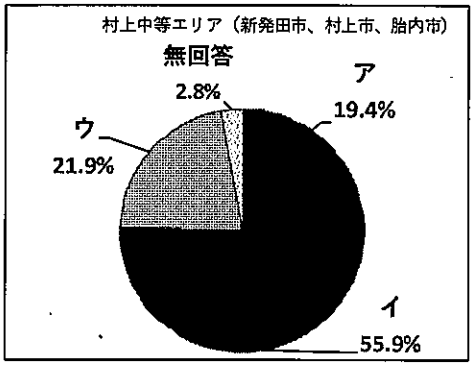
ア　徒歩で通学できる範囲

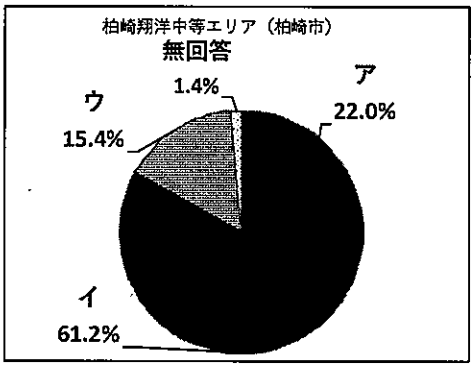
イ　自転車で通学できる範囲

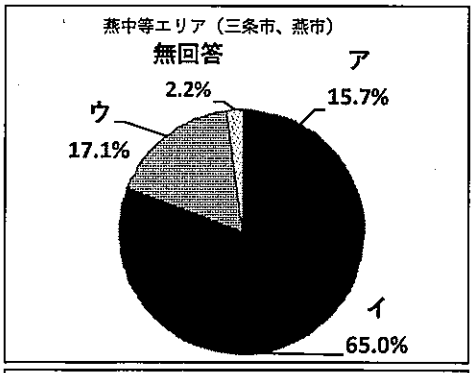
ウ　バスや電車などで通学できる範囲

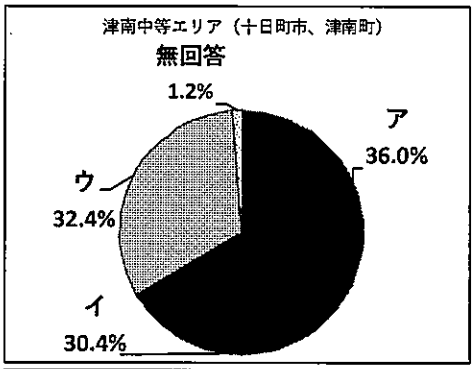
無回答

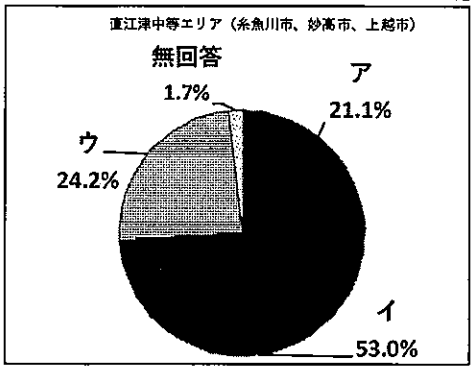
○　通学範囲については、「徒歩」と「自転車」で通学できる範囲が75.7%を占める。

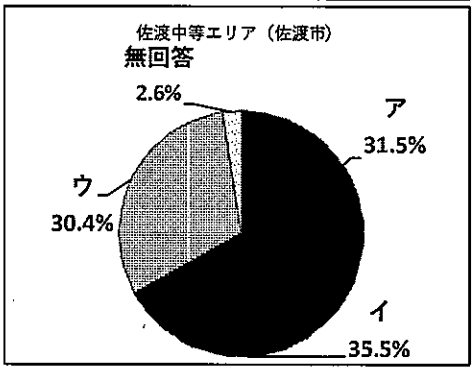












Ｑ７　その他、新潟県の中等教育学校や高等学校について、質問や意見があれば書いてください。

◆　中等教育学校に関する主な意見

【学習について】
○　大学進学に向けしっかりと勉強を教えてほしい。
○　学習課題が多く、勉強についていけるか不安。

【中等教育学校の魅力について】
○　中等教育学校は勉強を頑張ることができる。
○　高校入試がないためゆとりある学校生活が送れる。

【部活動について】
○　勉強と部活の両方を頑張りたい。
○　野球部など部活動を増やしてほしい。

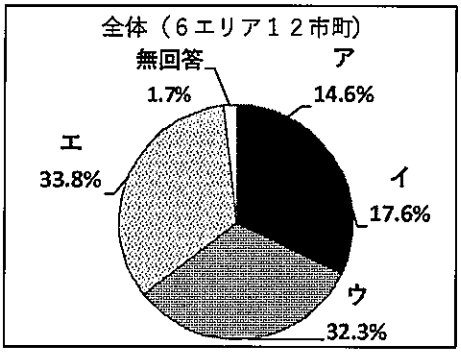
【通学等について】
○　距離が遠く通学が不便である。
○　公共交通機関を整備してほしい。
○　寮があるとよい。

【説明会等について】
○　オープンスクールは、学校の雰囲気や授業内容がよく分かってよかった。
○　もっと小学校で説明会をやってほしい。

【給食について】
○　中等教育学校も市立中学と同じ給食にしてほしい。

2　「保護者に対する調査」結果

Ｑ１　お子様の小学校卒業後の進学先について、指定された通学区域の中学校と中等教育学校等を比較・検討されていますか。



ア　しっかりと比較・検討している

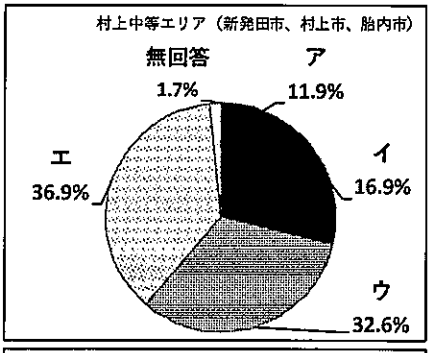
イ　少し比較・検討している

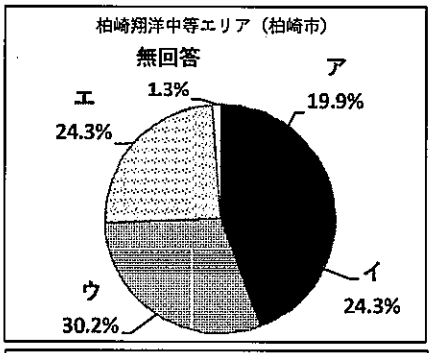
ウ　あまり比較・検討はしていない

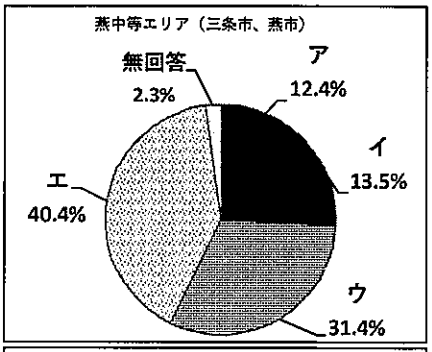
エ　全く比較・検討はしていない

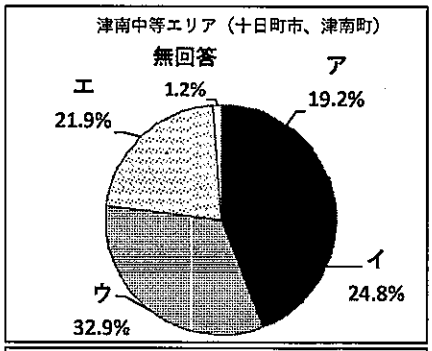
無回答

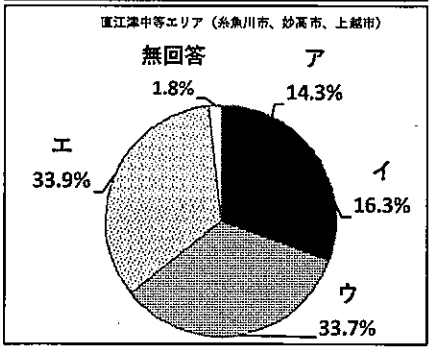
○　中学校と中等教育学校等を比較・検討している保護者は32.2%である。

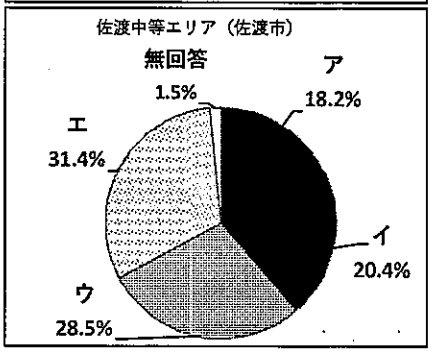




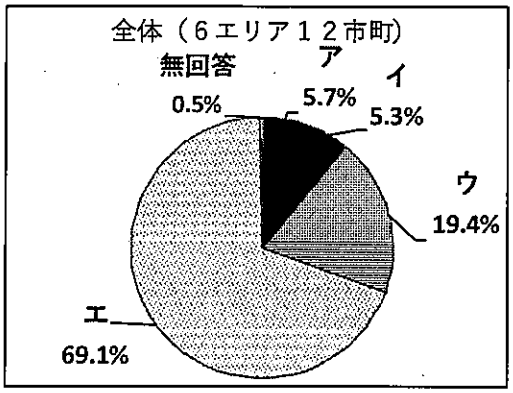








Ｑ２　現在、お子様の進学については、新潟県の中等教育学校を希望されていますか。



ア　希望している

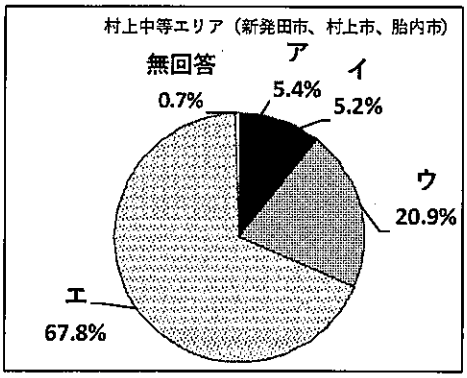
イ　どちらかというと希望している

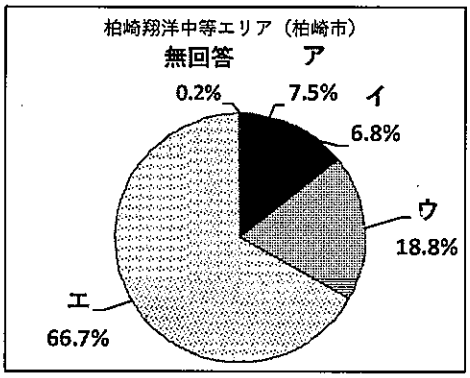
ウ　どちらかというと希望していない

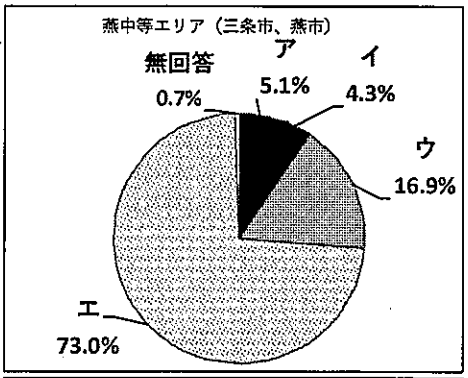
エ　希望していない

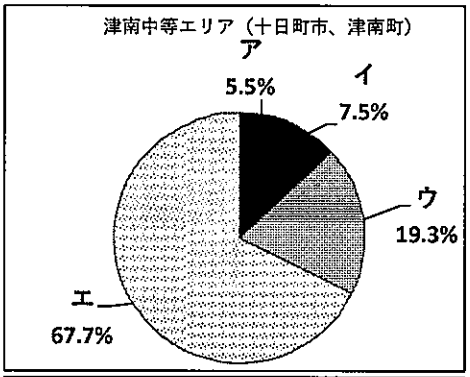
無回答

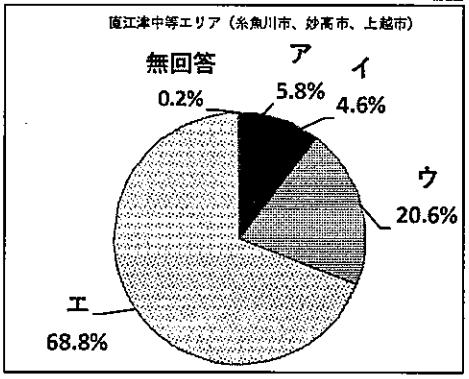
○　中等教育学校への進学希望は約11%である。

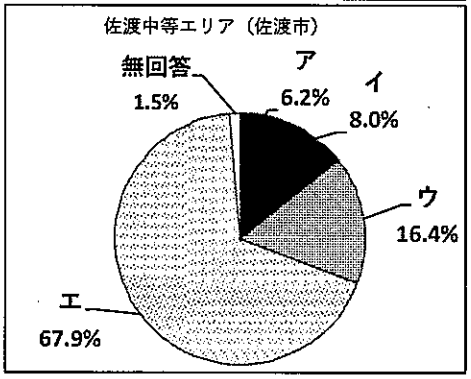




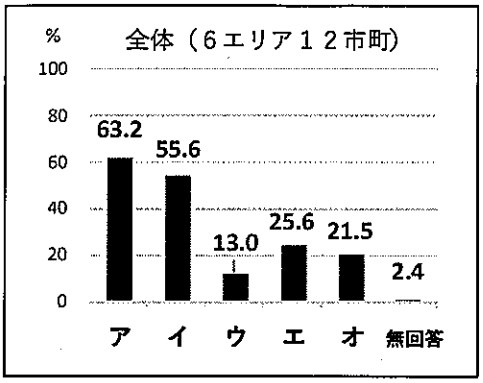








Ｑ３　お子様の進路として、中等教育学校への進学を選ぶ理由は何ですか。
（※Ｑ２ア、イ回答者、複数回答可、数値は回答者に占める割合）



ア　大学への進学指導が充実している

イ　高校入試がなく、６年間ゆとりある学校生活を送ることができる

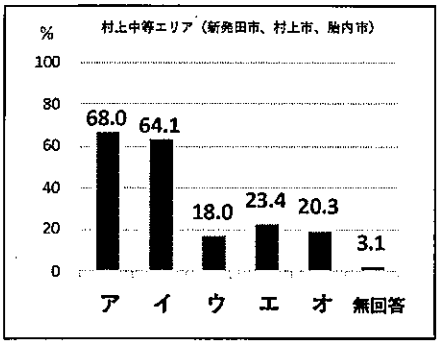
ウ　地域での体験学習が充実している

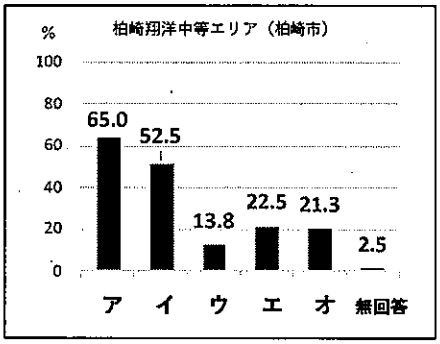
エ　学校行事が充実している

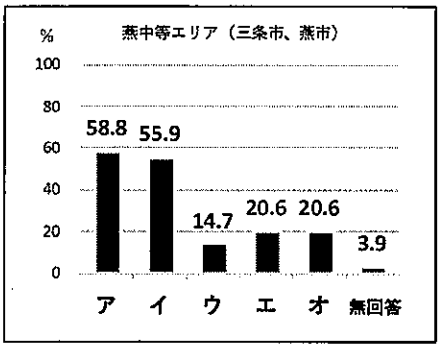
オ　その他

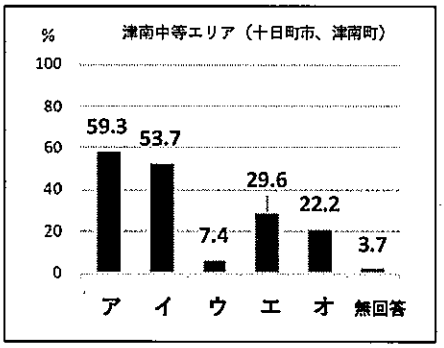
無回答

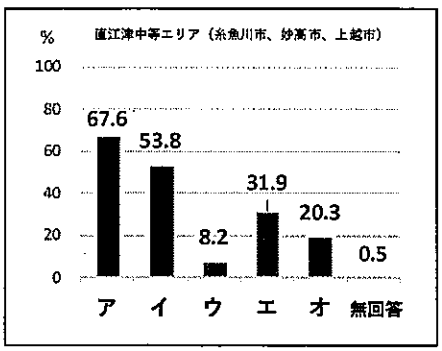
○　中等教育学校への進学を選ぶ理由は、「大学への進学指導が充実している」が63.2%で最も高く、次いで「ゆとりある学校生活を送ることができる」が55.6%である。

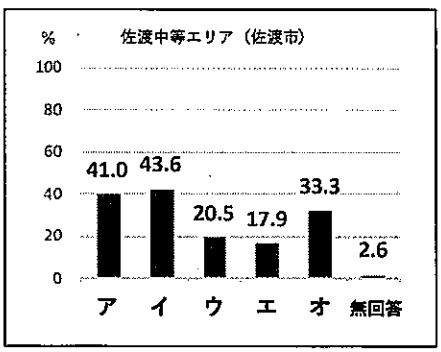




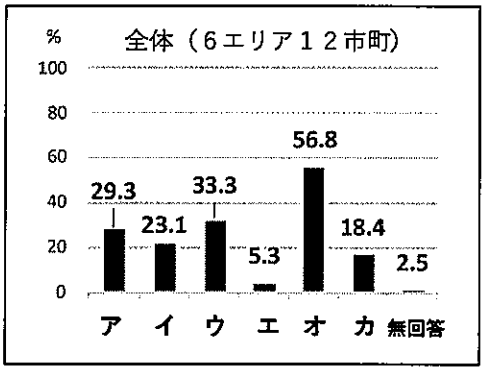








Ｑ４　お子様の進路として、中等教育学校への進学より、中学校や高等学校への進学を選ぶ理由は何ですか。（※Ｑ２ウ、エ回答者、複数回答、数値は回答者に占める割合）



ア　多様な人間関係の中で切磋琢磨する機会を増やしたい

イ　部活動を積極的にやらせたい

ウ　進路希望に応じて科目が選択できるような高校に進学させたい

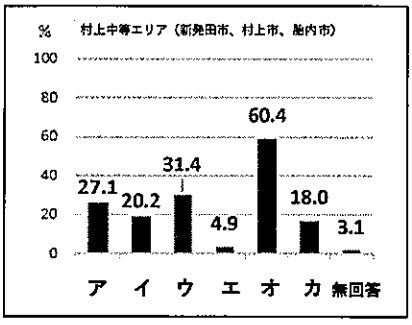
エ　高校で農業・工業・商業など専門的な学習をさせたい

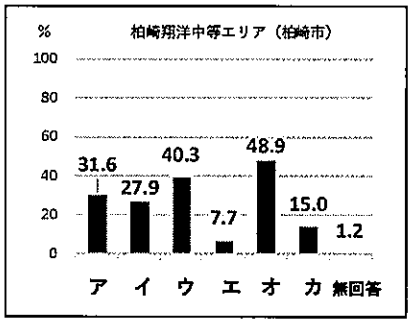
オ　自宅から近い学校に通わせたい

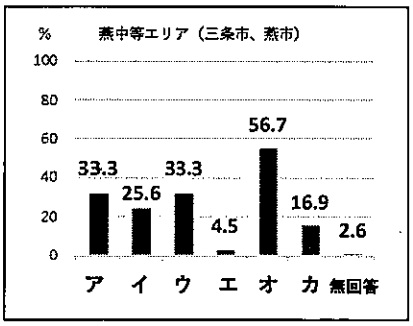
カ　その他

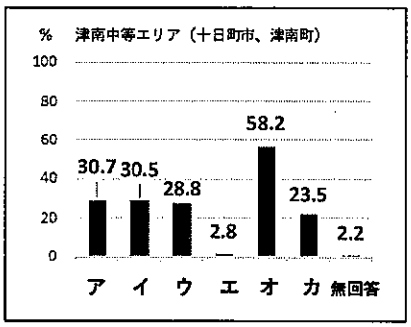
無回答

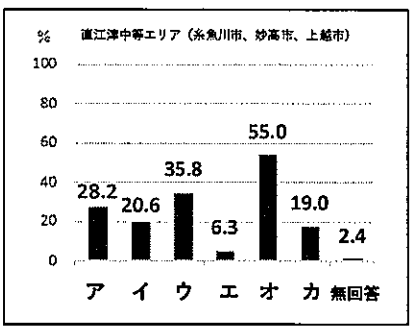
○　中学校や高等学校を選ぶ理由は、「自宅から近い学校に通わせたい」が56.8%で最も高く、次いで「進路希望に応じて科目が選択できるような高校に進学させたい」が33.3%である。

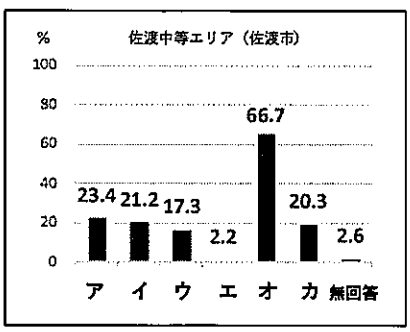




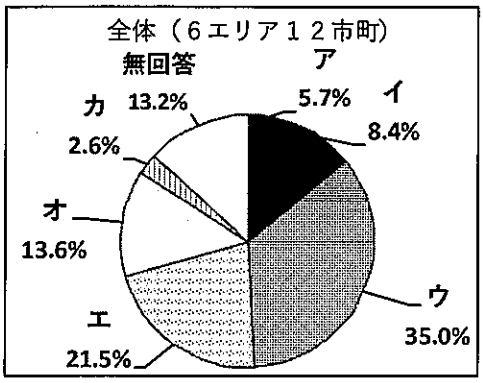








Ｑ５　お子様の進学したい高等学校について、お子様がいつ頃決めればよいとお考えですか。（※Ｑ２ウ、エ回答者）



ア　すでに決めている

イ　中学校１年生の間に決めればよい

ウ　中学校２年生の間に決めればよい

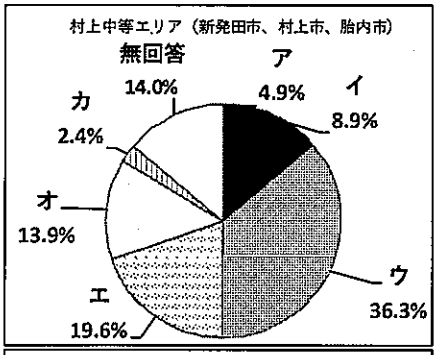
エ　中学校３年生の間に決めればよい

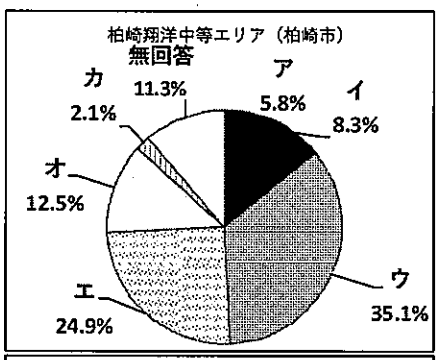
オ　いつ頃決めるかは考えたことがない

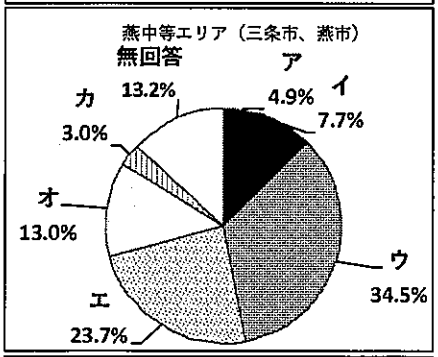
カ　その他

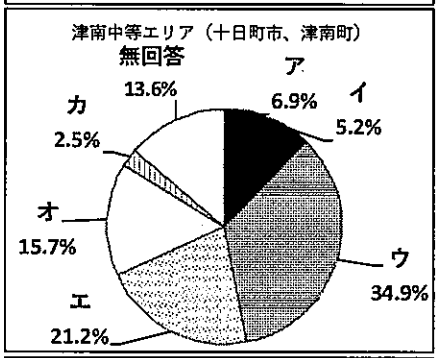
無回答

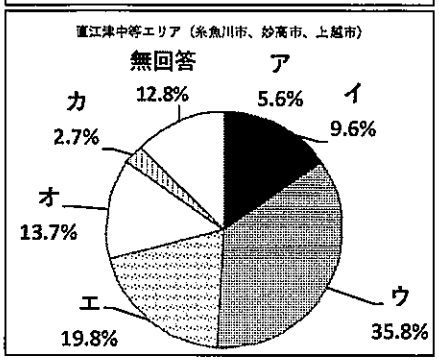
○　高等学校を決める時期については、「中学校２年生の間」が35.0％で最も高く、次いで「中学校３年生の間」が21.5％である。

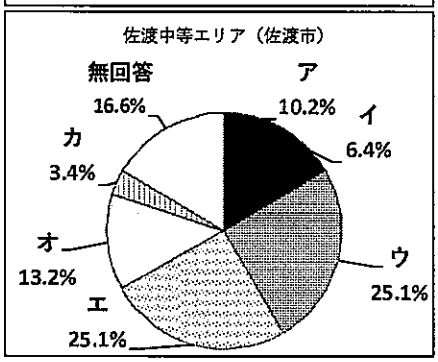




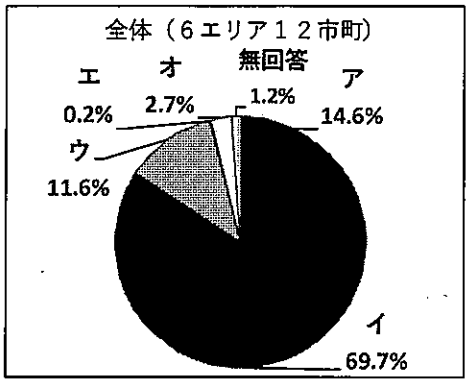








Ｑ６　お子様が中学校や中等教育学校等に進学する際に、通学に無理のない時間はどれくらいですか。



ア　１５分

イ　３０分

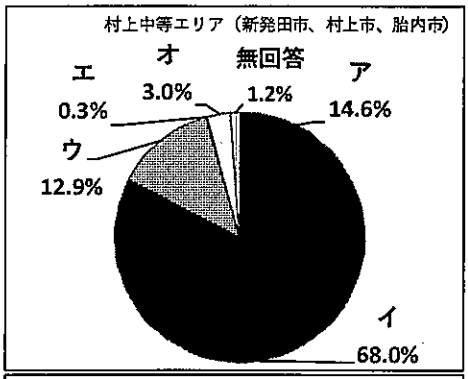
ウ　１時間

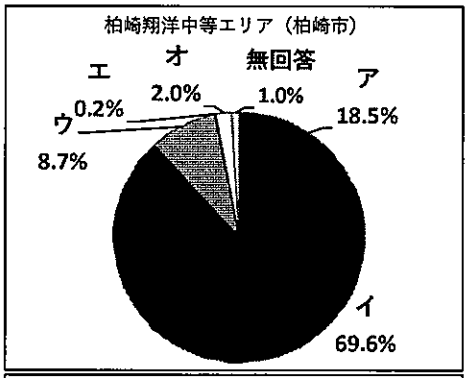
エ　1時間３０分

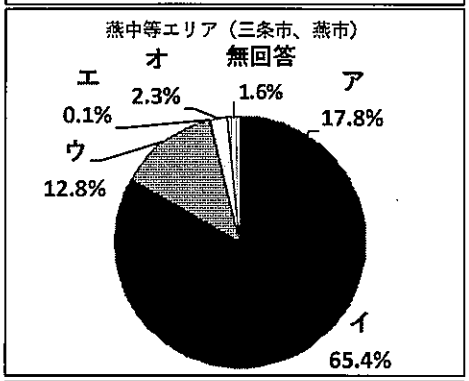
オ　特にない

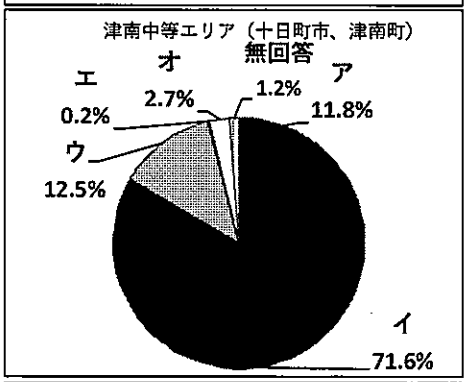
無回答

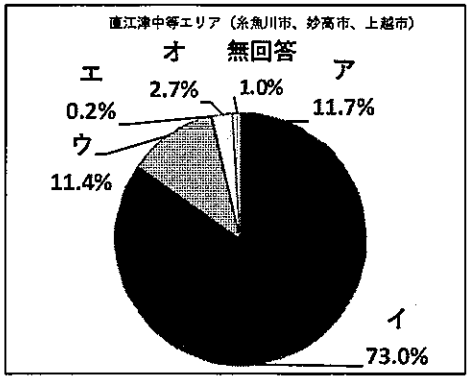
○　無理のない通学時間は、「15分」と「30分」で84.3％を占める。

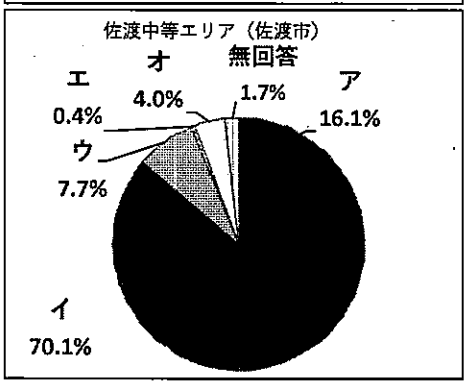




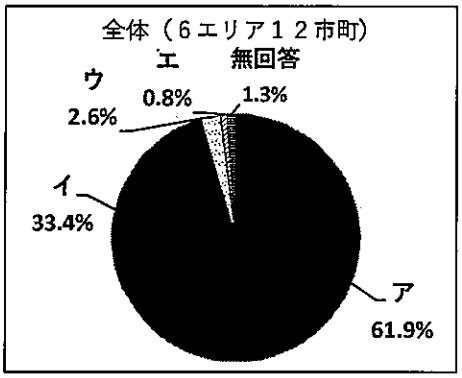








Q７　お子様の進学する中学校や中等教育学校等について、どのような通学範囲まで許容できますか。



ア　徒歩や自転車で通学ができる範囲

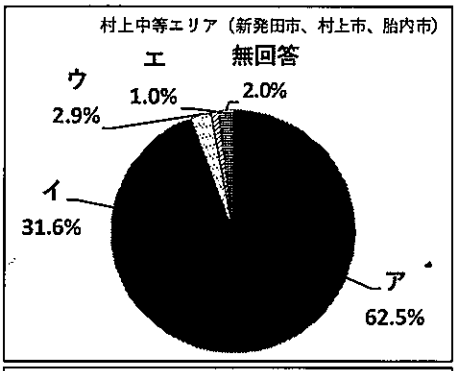
イ　バスや電車等の公共交通機関で通学ができる範囲

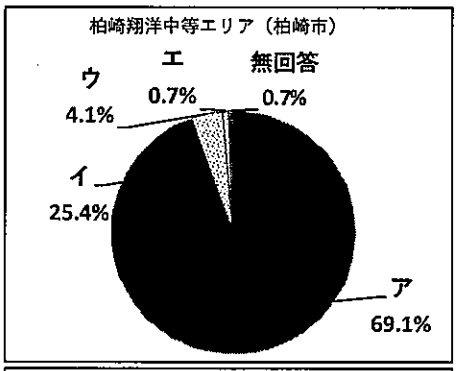
ウ　適当な公共交通機関がなく自家用車等で送迎する範囲

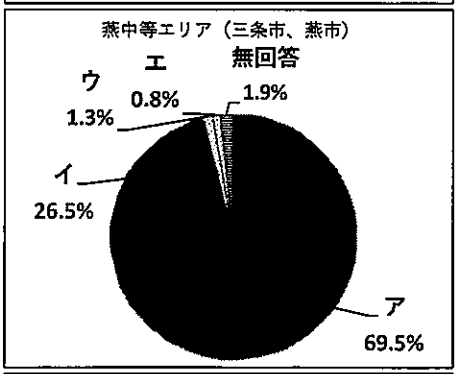
エ　下宿・寮等を利用する範囲

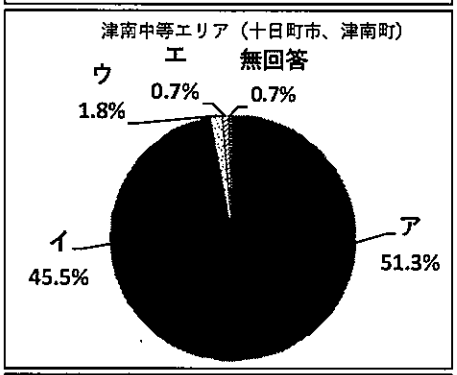
無回答

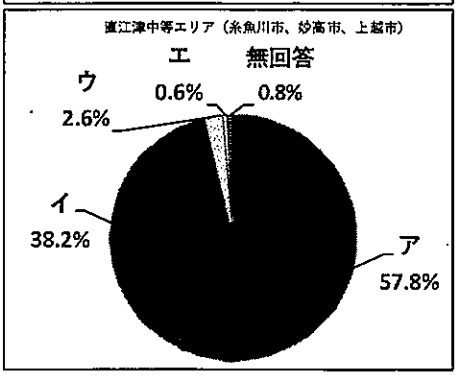
○　許容できる通学範囲は、「徒歩や自転車で通学ができる範囲」が61.9%で最も高い。

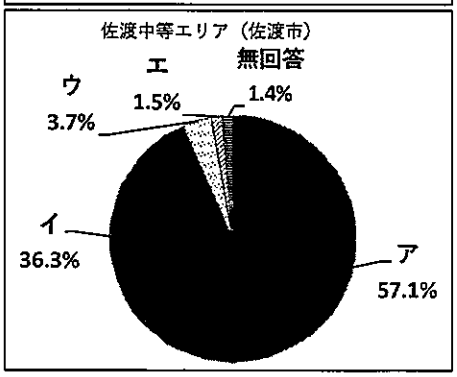




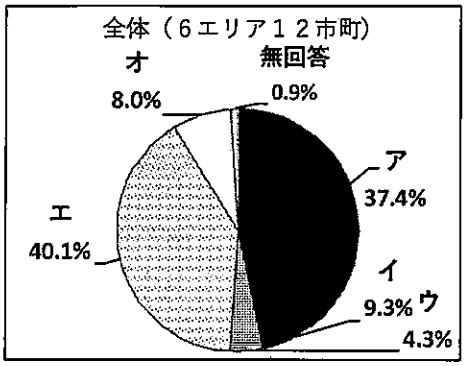








Ｑ８　お子様には、高等学校または中等教育学校等を卒業後にどのような進路に進んでほしいとお考えですか。



ア　大学へ進学

イ　専門学校へ進学

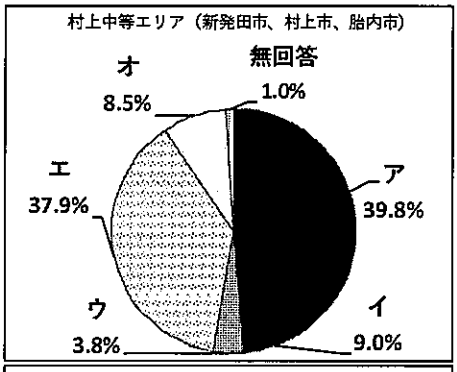
ウ　就職

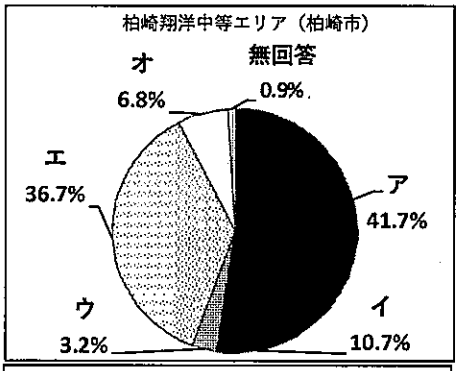
エ　まだ考えていない

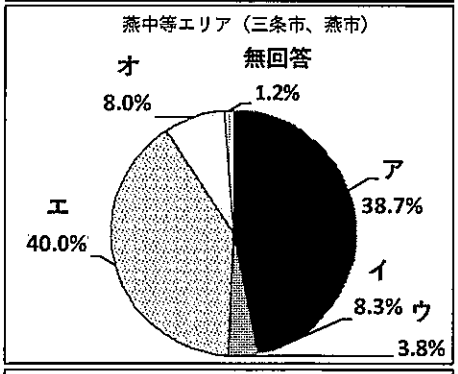
オ　その他

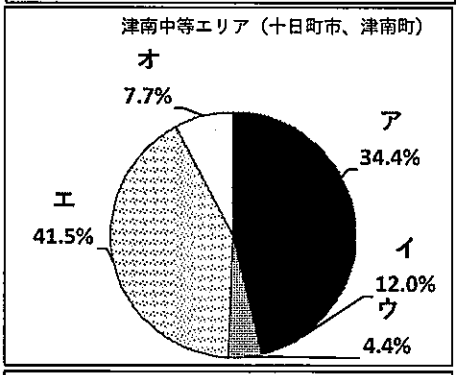
無回答

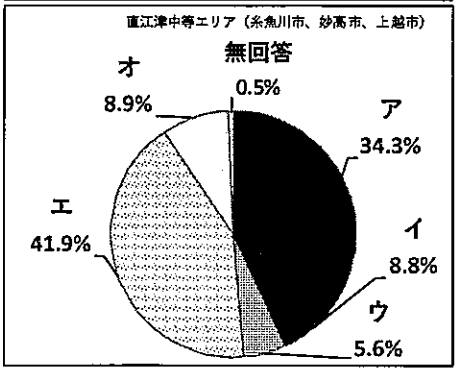
○　高等学校または中等教育学校卒業後の進路希望は、「まだ考えていない」が40.1%で最も高く、次いで「大学へ進学」が37.4%である。

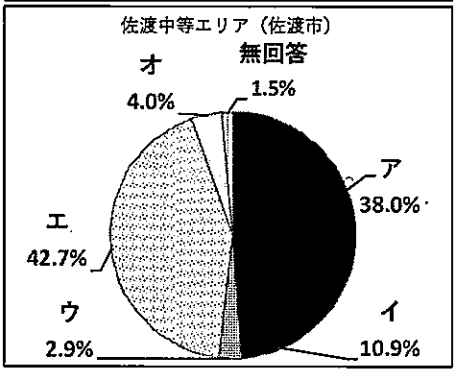




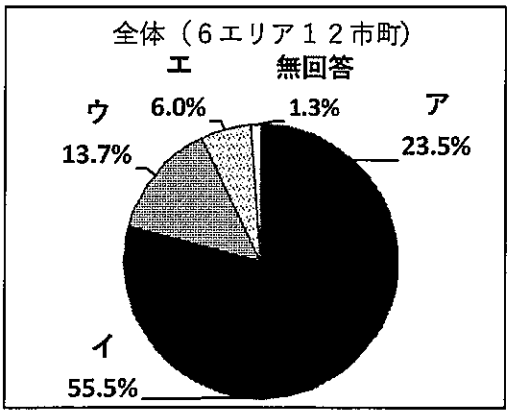








Ｑ９　高校段階での１学年あたりの学級数は何学級が望ましいと考えますか。



ア　２～３学級

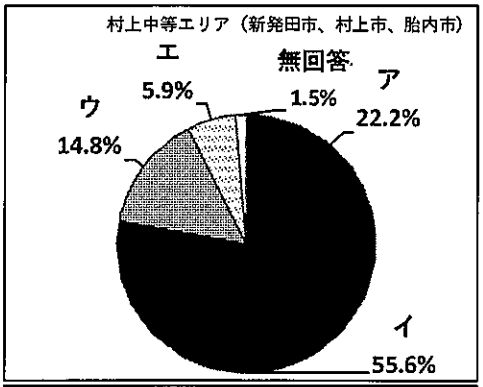
イ　４～５学級

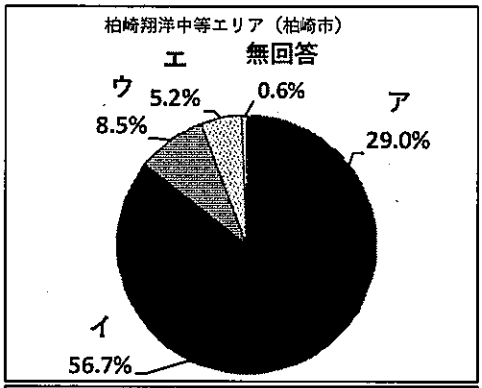
ウ　６～８学級

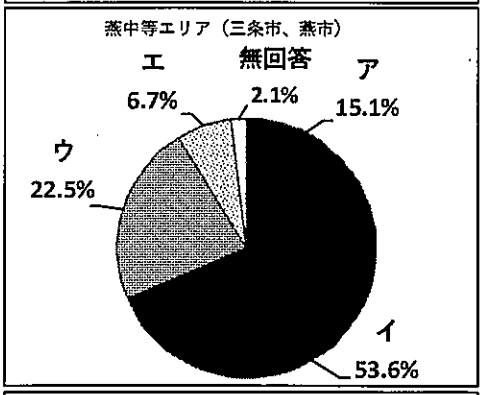
エ　その他

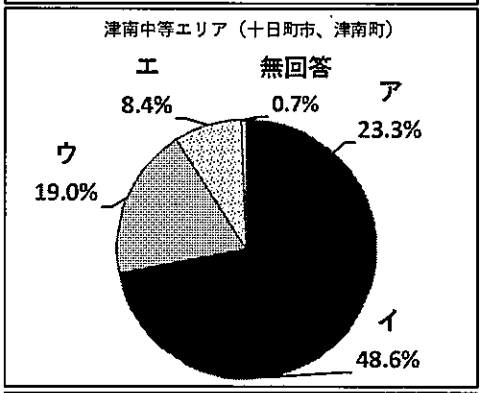
無回答

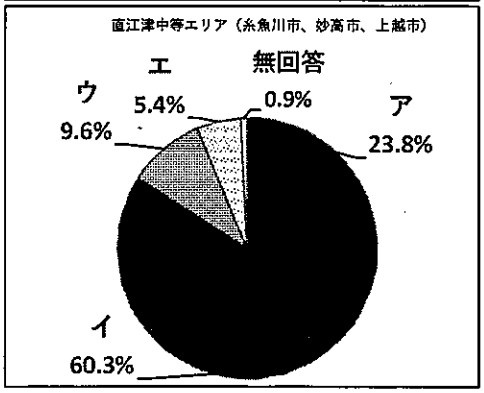
○　望ましい学級規模は、「４～５学級」が55.5%で最も多い。

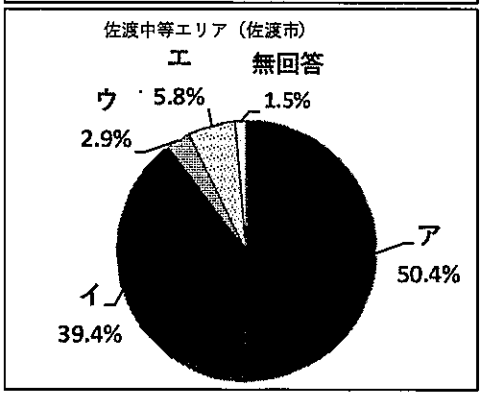












Q10　その他、新潟県の中等教育学校や高等学校について、質問や意見がありましたらご記入ください。

◆　**中等教育学校に関する主な意見**

【学習について】

○　塾などに通わなくてもしっかりと学力が身につくよう指導してほしい。
○　大学進学を目指す生徒にとってよい学校だと思う。
○　学習習慣が身につく。
○　勉強についていけない生徒もリタイアしないようにサポートしてほしい。
○　大量の学習課題を与え詰め込むだけの学習でなく、生徒が主体的に学習に取り組めるような教育環境を望む。

【通学等について】

○　本県の中等教育学校は交通の便の悪いところが多い。
○　通学のための交通機関の充実を希望する。
○　保護者が送迎ができる環境にないと、遠い学校を選ぶのは難しい。
○　特に冬場は送迎が難しいため、徒歩や自転車通学できる学校を選んでしまう。
○　中学１年生で電車通学は不安がある。
○　交通費がかかると経済的に厳しい。
○　電車の乗り継ぎが悪いため、授業の開始時間が遅いほうがよい。
○　中等教育学校は送迎の車の多さに驚く。中学は自分の力で通ったほうがよい。
○　寮を整備してほしい。

【説明会等について】

○　オープンスクールに参加すると、中等教育学校の様子がよく分かり、入学の意欲が高まる。
○　中等教育学校の職員による小学校での説明会は、分かりやすくてよかった。
○　直接オープンスクールに行かないと、中等教育学校の情報はあまり入ってこない。どういう学校なのかよく分からない。
○　中等教育学校の魅力と特色をもっと発信すれば、志願者は増えると思う。
○　子どもが６年生になってからではなく、早めに中等教育学校についての情報を詳しく知りたい。
○　パンフレットや説明会では情報量が足りない。進路を決定するには不十分である。
○　中等教育学校でかかる費用の額と内訳をホームページ、パンフレットなどで公開してほしい。

【部活動について】

○　中等教育学校の役割として部活は必要ない。もっと進学に力を入れてほしい。
○　子どもには勉強と部活の両方で頑張ってほしい。
○　もっと多様な部を設置してほしい。

【給食について】

○　中等教育学校も市内中学校と同じ給食にしてほしい。

【進路の決定について】

○　小学生の段階で、高校までの進路を決めるのは難しい。

【中等教育学校のあり方について】

○　少子化が進む中で、海外研修など各学校の独自性を出して、小学生や保護者に多様な選択肢を用意するのは良いことだと思う。
○　中等教育学校は、教育課程上のメリットが大きい。
○　学校行事が充実しているところがよい。
○　中学校からも編入できるとよい。
○　本県は県立の中等教育学校が多すぎる。
○　在籍期間が長く、クラス数が少ないため、人間関係が固定化されてしまう。
○　中等教育学校にも特別支援学級があるとよい。
○　地域の生徒が減少しているため、小中一貫教育を進めたほうがよい。
○　大勢の人がいる高校でいろいろな人と関わってほしい。
○　中高一貫にするより、中学校で将来を考えて、自分で高校を選ぶほうが大事だと考える。